

拓殖大学創立 120 周年記念

Flash Anzan

World Championship 2 0 2 0

- ◆主催 (一社)日本フラッシュ暗算検定協会
- ◆共催 拓殖大学・日本フラッシュ暗算協会
- ◆後援 ただ今、依頼申請中です。
- ◆協賛
- ◆日時 2020年6月28日(日) 午前10時～午後15時30分(午前9時30分開場)
- ◆会場 拓殖大学文京キャンパス「後藤新平・新渡戸稲造記念講堂」(E101)

主催者挨拶

フラッシュ暗算検定協会 会長 みやもとゆうじ 宮本裕史

1978年に考案した「宮本式フラッシュ暗算™」は、珠算技術の向上を計ることのできる種目であり、一般の方々にも珠算技術の高さを一瞬に伝えることのできる種目です。

実力が常に可視化することのできる「フラッシュ暗算」は、選手の実力向上にも繋がり、一般の方へのパフォーマンスにもなります。全ての人々が熱くなれる「フラッシュ暗算」が多くの人々に認知されることで、珠算の魅力を世界に伝えられるのではという思いから、ここに世界大会を開催します。

この度会場をご提供頂きました、拓殖大学は2020年に創立120周年を迎えます。歴史ある大学の節目の年、また東京オリンピック開催の年に「フラッシュ暗算」の世界大会を開催できることを嬉しく思います。

初の世界大会となりますので、多くの皆様の参加お待ちしておりますと共に、関係各位の絶大となるご支援とご協力を賜りたく存じます。

拓殖大学創立 120 周年記念

Flash Anzan

World Championship 2020

開催要項

1. 日 時 2020年6月28日(日) 午前10時～午後15時30分(午前9時30分開場)

※チャレンジ計算競技参加者は、午後13時から(12時30分開場)

2. 会 場 〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4-14

拓殖大学文京キャンパス「後藤新平・新渡戸稲造記念講堂」(E101)

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車 徒歩3分

※駐車場がないためお車でのお越しはご遠慮ください。

3. 参加資格 【珠算式フラッシュ暗算】

1次募集：一般社団法人 フラッシュ暗算検定協会の検定合格者

(17段以上の合格者はシード選手とし、座席指定となります)

2次募集：オープン参加

【フラッシュ電卓計算競技】

1次募集：電卓検定試験合格者

2次募集：オープン参加

【チャレンジ計算競技】

1・2次募集：オープン参加

申し込み期間	
一次募集	3月 1日～4月10日
二次募集	4月13日～4月24日

4. 参加者数 350名(予定)

5. 整理費 1名につき4,000円(昼食付き)

6. 申込先 FaST 実行委員会 HP よりお申し込みください。 <https://www.soroban-fast.com/>

※大会出場者は、当連盟のホームページや発行紙及び報道等に、成績及び競技の模様(顔写真を含む)を掲載する可能性があることを承諾の上、申し込みを行ってください。

7. 競技方法

A 【団体戦及び個人世界大会認定証】

- ・部門、計算方法問わず(電卓の部含む)の全員参加で競技を行う。
- ・正答の桁数・秒数を明記し、参加者全員に世界大会認定証を発行する。
- ・問題数は、35題の35点満点とし、合計得点によって順位を決定する。

〈①個人の部(珠算式暗算)〉

- ・部門別、小学生以下の部(12歳以下)・中学生の部(13~15歳)・高校生の部(16~18歳)・
大学生の部(19歳~22歳)・社会人の部(23歳以上)に金・銀・銅・4位~10位程度を決定する。
- ※学年による部門別に該当しない選手は、年齢(6月28日時点)によって、出場部門を決定する。

〈②団体の部(珠算式暗算)〉

- ・上位3名の合計得点によって、部門別(小学生以下の部・中学生の部・高校生の部・大学社会人の部)に金・銀・銅・4位~10位程度を決定する。
- ※団体の部は大学生と社会人の部を一つとする。

〈③団体の部（電卓）〉

・上位3名の合計得点によって、金・銀・銅を決定する。

※電卓の部は、部門をオープンとする。

※電卓の部の個人順位は、【Cフラッシュ電卓計算競技】にて決定する。

〈④個人の部（外国籍）〉

・外国からの参加者の中で、上位10名程度を特別表彰する。

・①～④ともに、合計得点が同点の場合は、秒数が速い問題の正答者を勝ちとする。

※ただし、優勝において同点の場合は、決勝によって決定する。

・問題程度は下記の通りである。

・(1)～(24)は、3桁15口とする。

(1)1.5秒 (2)1.6秒 (3)1.7秒 (4)1.8秒 (5)1.9秒 (6)2.0秒 (7)2.2秒 (8)2.4秒
(9)2.6秒 (10)2.8秒 (11)3.0秒 (12)3.2秒 (13)3.4秒 (14)3.6秒 (15)3.8秒 (16)4.0秒
(17)4.5秒 (18)5.0秒 (19)5.5秒 (20)6.0秒 (21)7.0秒 (22)8.0秒 (23)9.0秒 (24)10.0秒

・(25)～(35)は、2桁15口とする。

(25)5.0秒 (26)6.0秒 (27)7.0秒 (28)8.0秒 (29)9.0秒 (30)10.0秒
(31)11.0秒 (32)12.0秒 (33)13.0秒 (34)14.0秒 (35)15.0秒

・(34)は、2桁12口とする。(34)12.0秒 ・(35)は、2桁10口とする。(35)12.0秒

B【桁別競技】

・珠算式暗算のみで競技を行う。

・部門は、6桁の部・5桁の部・4桁の部・3桁の部・2桁の部・1桁の部とする。

・問題程度は、6桁・5桁・4桁・3桁・2桁・1桁の15口以内とする。

・入賞は、金・銀・銅を決定する。

※進行は上位桁数の部門から行い、上位先決で順位を決定する。

※部門の入賞者は、入賞した部門より少ない桁数の部門には出場することはできない。

※入賞しない場合は、全ての部門に参加可。

C【フラッシュ電卓計算競技】

・電卓利用者のみ・電卓検定試験合格者とする。

※本決定戦参加者はAを除く珠算式暗算の部への参加は不可。

※珠算式暗算で計算した場合は、失格とする。

※珠算式暗算参加者は参加不可。

・問題程度は、3桁15口以内とし、上位先決で順位を決定する。

・金・銀・銅を決定する。

D【チャレンジ計算競技】

・計算方法は暗算のみとする。

※電卓利用不可・珠算式暗算不可

※問題の転記は可、但し制限時間内での回答を必須とする。

・問題程度は、2桁2口から勝ち残り金・銀・銅を決定する。

E【無差別級世界一決定戦(ギネス記録に申請予定)】

- ・珠算式暗算のみで競技を行う。
- ・問題程度は、3桁30口とする。
- ・予選の問題程度は、3桁30口8秒(予定)から行い、決勝参加者を10名程度に決定する。
- ・決勝戦は、壇上にて勝ち残りで決定する。
- ・入賞は金・銀・銅・4位~10位程度を決定する。

8. 表彰

- ・参加者全員に世界大会認定証を発行する。また、参加者全員に参加記念品を贈呈する。

A【個人戦及び個人世界大会認定証】

①個人の部(珠算式暗算)

部門	金	銀	銅	4位~10位
小学生以下の部	1	1	1	計7名程度
中学生の部	1	1	1	計7名程度
高校生の部	1	1	1	計7名程度
大学生の部	1	1	1	計7名程度
社会人の部	1	1	1	計7名程度

②団体の部(珠算式暗算)

部門	金	銀	銅	4位~10位
小学生以下の部	1	1	1	計7名程度
中学生の部	1	1	1	計7名程度
高校生の部	1	1	1	計7名程度
大学社会人の部	1	1	1	計7名程度

③団体の部(電卓)

部門	金	銀	銅
オープン	1団体	1団体	1団体

④個人の部(外国国籍)

部門	特別表彰
オープン	10名程度

B【桁別競技】

部門	金	銀	銅
6桁の部	1	1	1
5桁の部	1	1	1
4桁の部	1	1	1
3桁の部	1	1	1
2桁の部	1	1	1
1桁の部	1	1	1

C【フラッシュ電卓計算競技】

部門	金	銀	銅
オープン	1	1	1

D【チャレンジ計算競技】

部門	金	銀	銅
オープン	1	1	1

E【無差別級世界一決定戦(ギネス記録に申請予定)】

部門	金	銀	銅	4位~10位
オープン	1	1	1	計7名程度

9. その他

- ・競技内容は、都合により変更になる場合があります。
- ・競技詳細は、日本フラッシュ暗算協会 HP にて更新予定ですので、随時ご確認ください。

10. お 願 い

- ・大会へのご協賛金をお願い申し上げます。1教室1口5,000円から参加料とともにご送金ください。参加名簿に教室名を掲載させていただきます。

公式フラッシュ暗算ソフトについて

一般の方々からみると、フラッシュ暗算はただランダムに数字が出されているだけのものに見えますが、公式フラッシュ暗算は、「数字の形」や「そろばんの珠のイメージへの変換のしやすさ」「イメージを作るために適した音」「暗算脳を作るための作問方法」の研究を重ね、暗算力を育てるための教材として、1978年に開発しました。この研究に基づいたフラッシュ暗算を「公式フラッシュ暗算」＝「宮本式フラッシュ暗算™」としております。

公式練習ソフトは日本フラッシュ暗算協会 HP (<http://www.flash-anzan.com/>)にて購入できます。